

みんなで伝え合い語り合うためのCEFR

【講座目的】 CEFRの理念を理解し、教育実践への応用について考えること

【講座目標】 ①CEFRを通して、自分の言語行動を振り返ることができる

②CEFRを通して、自分の教育実践を振り返ることができる



講師:奥村 三菜子 先生

NPO法人YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち、副理事

1990年代より海外の大学、市民講座、日本語補習授業校などで日本語教育に携わる。1999年に赴任したドイツでCEFRに出会って以降、帰国後もCEFRを応用した日本語教育実践やCEFRに関する研修・ワークショップなどを行っている。専門は日本語教育、継承日本語教育。

主著:『日本語教師のためのCEFR』(共編著,くろしお出版)

第1回
2022年2月24日(木)
19:00~20:30

CEFRの正体—CEFR誕生の背景とその理念—

〈目標〉CEFRが生まれた背景を知り、その性格がわかる

*キーワード:Reference、欧州評議会、複言語能力

第2回
2022年3月3日(木)
19:00~20:30

「できる」の正体①—人間の目的行動を考える—

〈目標〉私たちの目的行動は幅広く、一人一人異なることがわかる

*キーワード:コミュニケーション言語活動

第3回
2022年3月10日(木)
19:00~20:30

「できる」の正体②—「できる」を支えるものたち—

〈目標〉私たちの目的行動を支える多様な要素に目を向けることができる

*キーワード:コミュニケーション言語能力、一般的能力

第4回
2022年3月17日(木)
19:00~20:30

Referenceのインパクト—social agentを目指した実践に向けて—

〈目標〉Referenceの意義を理解し、未来の実践を自ら描くことができる

*キーワード:Reference、social agent、市民性教育

対象:日本語教育に携わる方、日本語教育を学ぶ方、日本語教育にご興味をお持ちの方など(定員80名、先着順)

申込期限:2022年2月17日(木)

受講料:9,000円(税込) ※全回の受講をお勧めしますが、ご希望の回のみのお申し込みは1回2,500円(税込)

会場:オンライン(ZOOM開催)

主催:大阪YMCA日本語教育センター

申込:詳細はこちら → <https://osakaymca.ac.jp/jle-center/2112.html>

